



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 エスペック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6859 URL <https://www.espec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 雅昭  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部長 (氏名) 大島 敬二 TEL 06-6358-4741  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	29,805	3.0	2,812	0.5	2,986	4.2	2,096	0.8
2019年3月期第3四半期	28,924	0.0	2,797	△6.0	2,867	△8.4	2,079	△4.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,195百万円 (51.9%) 2019年3月期第3四半期 1,445百万円 (△48.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	91.71	—
2019年3月期第3四半期	90.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	55,944	42,734	76.4	1,868.88
2019年3月期	57,359	42,088	73.4	1,841.30

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 42,734百万円 2019年3月期 42,088百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	22.00	—	46.00	68.00
2020年3月期	—	22.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	46.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	—	3,600	—	3,700	—	2,700	—	118.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

上記の数値のうち通期の対前期増減率については、前期に在外連結子会社の決算期統一を行い、15か月間の決算を行ったため記載を省略しております。なお、従来通り在外連結子会社の決算期が12か月間であった場合の対前期増減率については下記の通りになります。

(参考) 2019年3月期の在外連結子会社の決算期が12か月間であった場合の対前期増減率 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期（12か月）	42,500	△9.6	3,600	△34.1	3,700	△32.6	2,700	△33.0	118.09

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	23,781,394株	2019年3月期	23,781,394株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	915,164株	2019年3月期	923,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	22,863,503株	2019年3月期3Q	22,858,117株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済につきましては、米中貿易摩擦においては部分合意がなされたものの、世界経済の先行き不透明感から製造業を中心に減速基調が継続いたしました。

当社の主要顧客におきましては、自動車関連メーカーでは電動化や自動運転など先端的な開発分野においては投資が堅調に推移いたしました。その他の業種では投資に慎重な姿勢が見られ、投資の先送りが継続する状況となりました。

このような状況の中、当社は自動車やIoT関連市場をターゲットとした環境試験器のカスタマイズ対応力の強化やエナジーデバイス装置の販売拡大に取り組むとともに、欧州・ASEANを重点拡大地域と位置付け、海外市場での売上拡大に取り組んでまいりました。

こうした結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期比で受注高は8.2%減少し33,705百万円、売上高は3.0%増加し29,805百万円となりました。利益面につきましては、原価率が悪化したものの売上高の増加と販管費の減少により、営業利益は0.5%増加し2,812百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は0.8%増加し2,096百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2019年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2020年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	36,730	33,705	△8.2
売上高	28,924	29,805	3.0
営業利益	2,797	2,812	0.5
経常利益	2,867	2,986	4.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,079	2,096	0.8

セグメント別の経営成績

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失 (△) (百万円)
装置事業	26,755	24,408	2,429
サービス事業	4,780	4,610	443
その他事業	2,331	945	△63
連結消去	△162	△158	2
計	33,705	29,805	2,812

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに低調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期比で減少いたしました。海外市場では、中国・米国・欧州の売上高は前年同四半期比で増加いたしました。ASEAN・韓国・台湾は減少いたしました。環境試験器全体では受注高・売上高ともに前年同四半期比で減少いたしました。

エネルギーデバイス装置につきましては、二次電池評価装置および燃料電池評価装置の受注の遅れにより前年同四半期比で受注高は減少いたしました。売上高は主に燃料電池評価装置により前年同四半期比で増加いたしました。

半導体関連装置につきましては、バーンインシステム・チャンバーが堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期比で増加いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期比で受注高は13.1%減少し26,755百万円、売上高は2.8%増加し24,408百万円となりました。営業利益につきましては、原価率の悪化により1.0%減少し2,429百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2019年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2020年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	30,785	26,755	△13.1
売上高	23,735	24,408	2.8
営業利益	2,453	2,429	△1.0

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、受注高は前年同四半期並みとなり、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

受託試験・レンタルにつきましては、受託試験の受注が前年同四半期と同水準となり、受注高・売上高ともに前年同四半期並みとなりました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期比で受注高は0.8%減少し4,780百万円、売上高は1.8%増加し4,610百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や原価率の改善などにより7.8%増加し443百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2019年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2020年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	4,819	4,780	△0.8
売上高	4,528	4,610	1.8
営業利益	411	443	7.8

<その他事業>

環境保全事業および植物工場事業を中心とするその他事業では、当第2四半期に植物工場の大型受注があり、前年同四半期比で受注高は80.5%増加し2,331百万円、売上高は16.1%増加し945百万円となりました。利益面につきましては原価率の悪化により63百万円の営業損失となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2019年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2020年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	1,291	2,331	80.5
売上高	814	945	16.1
営業損失 (△)	△70	△63	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの経営成績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は55,944百万円で、前連結会計年度末と比べ1,414百万円の減少となりました。その主な要因は、前連結会計年度末に計上された売上債権(受取手形及び売掛金ならびに電子記録債権)の回収による減少5,045百万円、受注残高の増加に伴う仕掛品などのたな卸資産の増加1,596百万円、有形固定資産の増加1,147百万円、投資その他の資産の増加787百万円などによるものであります。また、負債は13,210百万円で前連結会計年度末と比べ2,060百万円の減少となりました。その主な要因は、仕入債務(支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務)の支払いによる減少1,205百万円、未払法人税等の減少655百万円、その他流動負債の減少517百万円などによるものであります。純資産は42,734百万円で前連結会計年度末と比べ645百万円の増加となり、その主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益2,096百万円の計上および剰余金の処分1,567百万円に伴う利益剰余金の増加530百万円、その他有価証券評価差額金の増加316百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、2019年10月31日に発表した予想数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,028	12,330
受取手形及び売掛金	18,644	13,200
電子記録債権	2,493	2,892
有価証券	2,901	2,901
商品及び製品	1,054	1,256
仕掛品	1,674	2,991
原材料及び貯蔵品	2,129	2,207
その他	2,070	1,851
貸倒引当金	△93	△36
流動資産合計	42,905	39,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,505	3,463
土地	4,446	4,444
その他(純額)	2,011	3,202
有形固定資産合計	9,963	11,110
無形固定資産		
のれん	455	401
その他	283	297
無形固定資産合計	739	698
投資その他の資産	3,751	4,539
固定資産合計	14,454	16,348
資産合計	57,359	55,944
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,164	2,601
電子記録債務	4,597	3,954
短期借入金	—	198
未払法人税等	815	159
賞与引当金	406	151
役員賞与引当金	13	—
役員株式給付引当金	18	—
製品保証引当金	255	166
受注損失引当金	0	1
その他	4,412	3,895
流動負債合計	13,685	11,130
固定負債		
長期借入金	—	263
退職給付に係る負債	63	66
役員株式給付引当金	53	73
役員退職慰労引当金	4	4
資産除去債務	14	14
その他	1,449	1,657
固定負債合計	1,585	2,079
負債合計	15,270	13,210

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,120	7,120
利益剰余金	29,080	29,610
自己株式	△1,198	△1,180
株主資本合計	41,898	42,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,123	1,439
土地再評価差額金	△662	△662
為替換算調整勘定	△155	△390
退職給付に係る調整累計額	△115	△97
その他の包括利益累計額合計	190	288
純資産合計	42,088	42,734
負債純資産合計	57,359	55,944



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	28,924	29,805
売上原価	18,055	19,034
売上総利益	10,868	10,771
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,347	2,477
賞与引当金繰入額	150	44
役員株式給付引当金繰入額	50	23
製品保証引当金繰入額	116	102
のれん償却額	48	47
その他	5,358	5,262
販売費及び一般管理費合計	8,071	7,959
営業利益	2,797	2,812
営業外収益		
受取利息	21	19
受取配当金	79	153
貸倒引当金戻入額	16	43
その他	86	41
営業外収益合計	203	258
営業外費用		
支払利息	0	3
貸倒引当金繰入額	—	0
為替差損	121	66
支払手数料	6	7
その他	4	6
営業外費用合計	133	84
経常利益	2,867	2,986
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	10	8
特別損失合計	10	11
税金等調整前四半期純利益	2,856	2,975
法人税、住民税及び事業税	776	878
四半期純利益	2,079	2,096
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,079	2,096

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,079	2,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△622	316
為替換算調整勘定	△32	△235
退職給付に係る調整額	20	17
その他の包括利益合計	△634	98
四半期包括利益	1,445	2,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,445	2,195

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	23,710	4,407	806	28,924	—	28,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	120	7	153	△153	—
計	23,735	4,528	814	29,077	△153	28,924
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,453	411	△70	2,795	2	2,797

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,388	4,472	943	29,805	—	29,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	137	1	158	△158	—
計	24,408	4,610	945	29,964	△158	29,805
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,429	443	△63	2,809	2	2,812

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。